いそがわゆかさんってこんな人



真面目で熱心、誠実。中途半端なことはしない、正義感の強い女性です。地味にめげずに取り組む姿が信頼できる人。

芯が強く「やりたい！」と思ったことを必ず実行する信念の人です。

優しくて思いやりがあり、広い視野で物事を見て答えをだしてくれます。



現場の声をきき、忖度せずに市民のために、みんなの声を代弁してくれる。

昨日より今日、今日より明日と明るい笑顔と持ち前のバイタリティで未来を開拓できる人です。

プロフィール

★1986年　京都市生まれ　五月が丘在住
★2005年　同志社女子高等学校卒業
★2009年　同志社大学社会学部社会福祉学科卒業
★2009～2015年　尼崎市　勤務
★2015年4月～吹田市議会議員　現在2期目
（議会会派：市民と歩む議員の会所属）



同じ会派の
池渕佐知子さんと

◎市民活動・地域活動等
（公財）千里リサイクルプラザ研究員 / すいた市民環境会議 / 吹田自然観察会 / 紫金山みどりの会 / せせらぎ花の会 / 新小川花の会 / 千里竹の会 / マンションライフを考える会 / 孫子老 / 市民ネットすいた / 平和なまちづくりNW/ おのくん里親の会 / 太陽の広場フレンド / 手話サークル『風』/ 大阪ごみを考える会 / 五月が丘地区防災委員・福祉委員、自治会副会長 / 関西若手議員の会 / 近畿市民派議員の会／気候危機・自治体議員の会 / みんなで止めよう！香害、有志議員の会 / 吹田の図書館をもっとよくする会 / 傾聴ボランティアほほえみ

◎資格・経験
ケースワーカー・訪問介護員養成研修2級課程修了（ホームヘルパー２級）高等学校教員免許 公民科・福祉科

◎議会での役割（2期目）：文教市民常任委員会委員長、議会運営委員会小協議会委員長、議会広報委員会委員長、環境審議会委員等

ボランティア募集中！

私たちは、ボランティアの皆様に支えられて活動しています。議会だより配布・折込作業のお手伝いをして頂ける方を大々募集しています！どの地域でも、何枚からでも結構です。ご連絡ください!!カンパの応援もお待ちしています。

【郵便振替】
00920−4−331276
いそがわ ゆか応援団



五月が丘の事務所

いそがわゆか（五十川有香）

■吹田市役所控室
〒564-8550
大阪府吹田市泉町 1-3-40
TEL:06-6384-1390
FAX:06-6337-6858
■事務所
〒565-0831
大阪府吹田市五月が丘東 9-12-102
TEL:06-4864-2874
FAX:06-6878-1452
Email:510yuka.suita@gmail.com
URL:https://isogawa.net

各種SNSで情報発信中！
ホームページもご覧ください。

ホームページ　Instagram　510.YUKA　Facebook　LINE

《討議資料》

吹田 いきいき市民ネットワーク

100% 市民派 無党派

吹田市議会議員
五十川有香

あなたとともに！市民のための市政へ

いそがわゆか

政策ニュース



2期8年間、皆さんとともに市政に向き合い続けてきました。

いつもありがとうございます。2期目の任期のうち3年間は、新型コロナウイルス感染症というパンデミックによりこれまで潜在化していた課題も浮き彫りとなりました。人間のいのちと生活をどのように守り抜くのか。自治体議員として何ができるのか。日々考えながら、市民の皆さんと共に声をあげてきました。

この8年間、市政課題は市民の気づきから生まれ、議会や行政とともに行動することで変わることを肌で感じています。皆さんからの気づきが市政変革の原動力です！

これからも、政策等を議論する「議会」、「議員」という存在の意義を高め、ひとりひとりの人権が守られ、「市民のための市政」＝市民の声に寄り添える吹田市政の実現に向け、引き続き、皆様と連携し、全力で取り組んでまいります。



活動スタイル



議会質問。手話で名前を表しています。

議会活動

毎回必ず質問、内容は議会だよりを作り市内に配布。議案は是々非々の立場で、ひとつづつ賛否を判断します。

市民活動

日常から福祉や子育て、環境などの市民活動に参加し、体と頭を動かして市民目線で施策を考えます。

地域活動

自治会、福祉、防災などの委員として地域で活動することでコミュニティーの在り方を考えます。



月１回、紫金山公園の整備をしています。自然に触れる時間。



地域の防災委員として防災の啓発活動を実施。

議会報告を毎回ポスティング！

市民の皆さんへの議会報告は議員の責務です。

たくさんのボランティアの皆さんのご協力で、毎議会後に議会報告ニュースを、市内約57,000戸にポスティング及び駅にて配布しています！
（コロナ禍でもその時にできる方法で欠かさず実施）。





事務所でチラシの挟み込み作業。



駅頭でも議会報告を配布しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

2期8年 いそがわゆかの実績

議会での取組みの一部（議会質問）



市民の声を聞く市政へ！

・地域の声を聞く前に市が進めた事業（桃山公園等）には強く批判をして協議の場の開催へ！
・教育委員会への請願・陳情の形骸化を指摘し、改善へ！

子どもの権利の視点を！

・こども関連施策の審議会委員に子どもを入れることを提案！
・いじめ重大案件について徹底追及！
・医療的ケア児の通学支援の充実を求めて、一部送迎の実現へ！

すべての施策に合理的配慮の視点を！

・市内公共事業等におけるバリアフリー市民会議等当事者の意見を聴くことを求めました。
・手話はいのち、手話言語条例の制定を求めました！
・本会議のネット放映の合理的配慮の字幕導入を実現！

地域コミュニティの充実へ！

・地域の居場所づくりの大切さを提案！

政府・大阪府等への意見書や決議を！

・沖縄戦の戦没者の遺骨等が混入した土砂を埋立地に使用しないことを求める意見書
・万博記念公園地区内に住宅建設は認めないことを求める決議
・ロシアによるウクライナへの侵略行為に対して平和的解決を求める決議

議員インターンの受け入れ

2期目中にインターン生の方お2人と一緒に活動しました！（大学生と社会人女性）また、全国の他の議員やインターン生と交流をして共通する政策課題等について学び合いました。）

不登校の子どもたちの実情に寄り添った支援を！

・学校の健康診断未受診者（不登校児の割合高）へ学校医の病院等による健診を可能に！（歯科と内科）
・特別支援学級の児童も教育支援教室（光の森・学びの森）を利用可能とするを強く求め、R6 年度の移転に合わせた検討

環境にやさしいまちへ！

・あらゆる施策に環境の視点を！ SDGsの政策的位置付を明確に！
・気候非常事態宣言による意識の醸成を求めました。

一人一人の生活を守る仕組みを！

・AYA世代の在宅療養支援の充実を求めています！
・居住支援の充実を求め、居住支援協議会の設置へ！

行政の適正化へ追及！

・災害ごみ処理の違法性を指摘！
・公共施設の法定点検の違法状態を是正へ！

現場で学ぶ！（行政視察等）



東日本大震災の大川小学校等での「いのちを真ん中にした」危機管理の本質を学び、吹田市にもその視点を提案しました。

女性議員の会として超党派で連携して実施

一時保育の実現、コロナ禍での生理の貧困のことや防災の備蓄品の生理用品の件、女性議員同士の意見交換の実施。

開催中！　どなたでも参加できます。

■月1回のなんでも市民相談日（オンラインでもＯＫ！）
■政策テーマ別語ろう会（市民と歩む議員の会会派として）
※通学区域等について語ろう会等
■NAaSIな会
近隣他市の議員等とテーマ別座談会を発信しています！ facebookにて配信！



STOP! 気候危機

全国の有志議員でつながり、ストップ！気候危機・自治体議員の会の運営をしています。

気候危機はいのちと関わり深い問題です。
2023アクションに賛同しています。

気候危機
自治体議員の会HP

吹田 いきいき市民ネットワーク

いきいきネットワークの5つのこだわり

1. 市民の目線で税金のムダづかいをチェックします。
2. 組織や団体にしばられず、自分で考え行動します。
3. ただの批判でなく、具体的で実現可能な政策を提言します。
4. 課題の解決だけなく、問題を予防することに力を注ぎます。
5. 将来につけをまわさず、未来への責任を貫きます。



平成7年（1995年）の阪神大震災の起こった年に“市民目線で活動する議員を市議会へ送り出し、市政に参画しよう”そんな市民の想いから生まれた市民同士のネットワークです。『見える政治・わかる政治』をモットーに議員活動を行い、その結果や政務活動費（HPにて公開）・議員報酬の使い道を「議会だより」で発信しています。

『市民力』、『広がるネットワーク』が『吹田いきいき市民ネットワーク』の原点です。

いきいき主催！　~市民の活動から生まれる心のつながり・まちの魅力再発見へ

ミニ講演会！リレートークショー開催しました！

2022年6月25日（土）総会後に実施しましたミニ講演会。コロナ禍で「市民同士の対話」や「行政との対話の場」を直接的に設けにくい環境となりましたが、対話から生まれる支え合い、心のつながりを保つことの重要性を感じられた方も多いと思います。手づくりリレーバトンを受け渡しながら4人の方にお話しいただきました。





いそがわゆかの今後に向けて



2015年9月に国連サミットにて採択された世界共通SDGSの概念は、各自治体の施策に紐づけ等されており、「持続可能な社会」や「誰ひとり取り残さない社会」の実現には、市民の気づきと行動とともに地方議会や自治体の役割が大きいことを感じています。

これからも、いそがわは、一人一人のその地域にある小さな声に情熱をもって寄り添い、まっすぐな気持ちで市政に向き合います。

■平和と人権を大事にするまちへ
■市民自治・地方自治をすすめるまち
■災害・犯罪につよく、安心安全なまちづくり
■介護や福祉、在宅医療を充実するまちへ
■子どもの権利を守り、子どもが笑顔になるまちへ
■公教育を充実させ、安心して子育てできるまちへ
■みどり豊かで環境を大切にする
■障がいのある人、外国人など多様な市民が共生できる
■産業・文化・スポーツなどもっと魅力的に！
■さまざまな課題をかかえながらもひとりじゃないと思えるまちへ

引き続き、市民の皆さんとの対話をもとに提案していきます！



◎市政への市民参画の機会を広げます。
◎市政の情報提供・情報公開を最大限求めます！
◎市民の平和、人権理解への取り組みを支援します。
◎いじめの早期発見、少人数学級、子どもの居場所、不登校児童・生徒の背景に寄り添った対応を求めます。審議会への子ども委員の創設を求めます。
◎SDGsの概念に基づいた取組みを強化します！
◎環境保全や自然保護、気候危機対策への積極的な提言・行動します。すべての政策に環境の視点を。
◎居住支援の充実を求めます。
◎女性の役割を守ります（防災、仕事と子育て等）。
◎まちづくりをアートに！（空き家の活用など）
◎市民に身近な議会への取組みを進めます。
◎行政の適正化、市民目線の監視体制の強化へ